

会社説明会

平成26年12月



株式会社早稲田アカデミー

東証一部(証券コード:4718)

<1>

はじめに
～会社概要～

<2>

業界動向

<3>

ビジネスモデル

<4>

業績推移

<5>

今後の事業展開

<1> 会社概要



- 商号：株式会社早稲田アカデミー
- 事業内容：「早稲田アカデミー」「ExiV(エクシブ)」「サクセス18」等のブランドで進学塾を運営。その他教育関連事業、不動産賃貸事業。
- 本社：東京都豊島区池袋2-53-7
- 代表者：代表取締役社長 瀧本 司
- 資本金：9億68百万円(平成26年12月現在)
- 上場取引所：東京証券取引所市場第一部
(証券コード:4718)
- 創業：昭和50年7月
- 決算期：3月
- 従業員数：正社員825名 非常勤3,224名(単体/平成26年9月末現在)
- 関係会社：株式会社野田学園



<1> 会社概要 ~ 主な事業内容



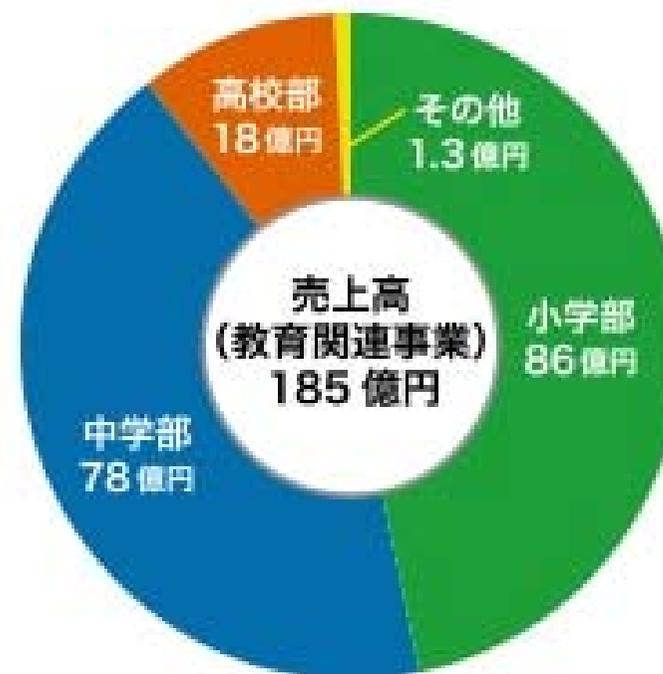
セグメント別売上高

(平成26年3月期連結実績)

セグメント別	売上高(百万円)	構成比
教育関連事業	18,518	99.4%
(小学部)	(8,637)	(46.7%)
(中学部)	(7,850)	(42.4%)
(高校部)	(1,892)	(10.2%)
(その他教育関連事業)	(137)	(0.7%)
不動産賃貸	112	0.6%

() 内は教育関連事業の内数を表しております。

教育関連事業の内訳



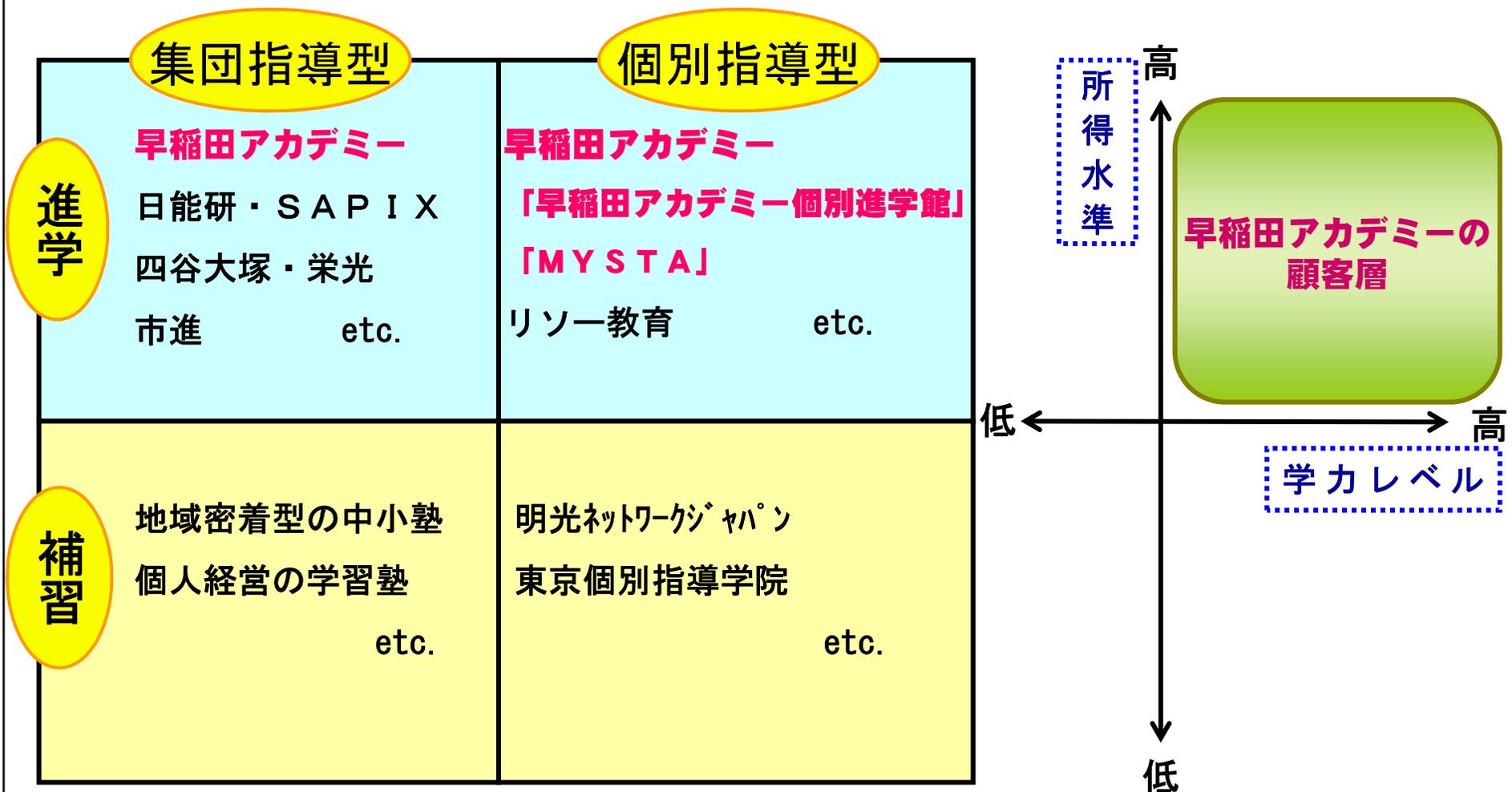
その他教育関連事業の概要

- ・ 社会人研修
- ・ 私公立学校からの受託授業
- ・ 教育コンテンツ販売

<1> 会社概要 ~学習塾の分類と当社集客ゾーン



少子化や不況の影響を受けにくい顧客層をターゲット



<1> 会社概要 ～指導形態と校舎数



集団指導型の校舎を主体に首都圏で校舎展開

150校

集団指導校舎 129 校

個別指導校舎 21校

集団指導ブランド



【一流中学高校受験】



【難関中高受験専門】



【難関中高受験専門】



【現役生難関大学受験専門】



【都立高校受験専門】



【独自の英語教育講座】

個別指導ブランド



早稲田アカデミー個別進学館
WASEDA ACADEMY KOBITSU SCHOOL

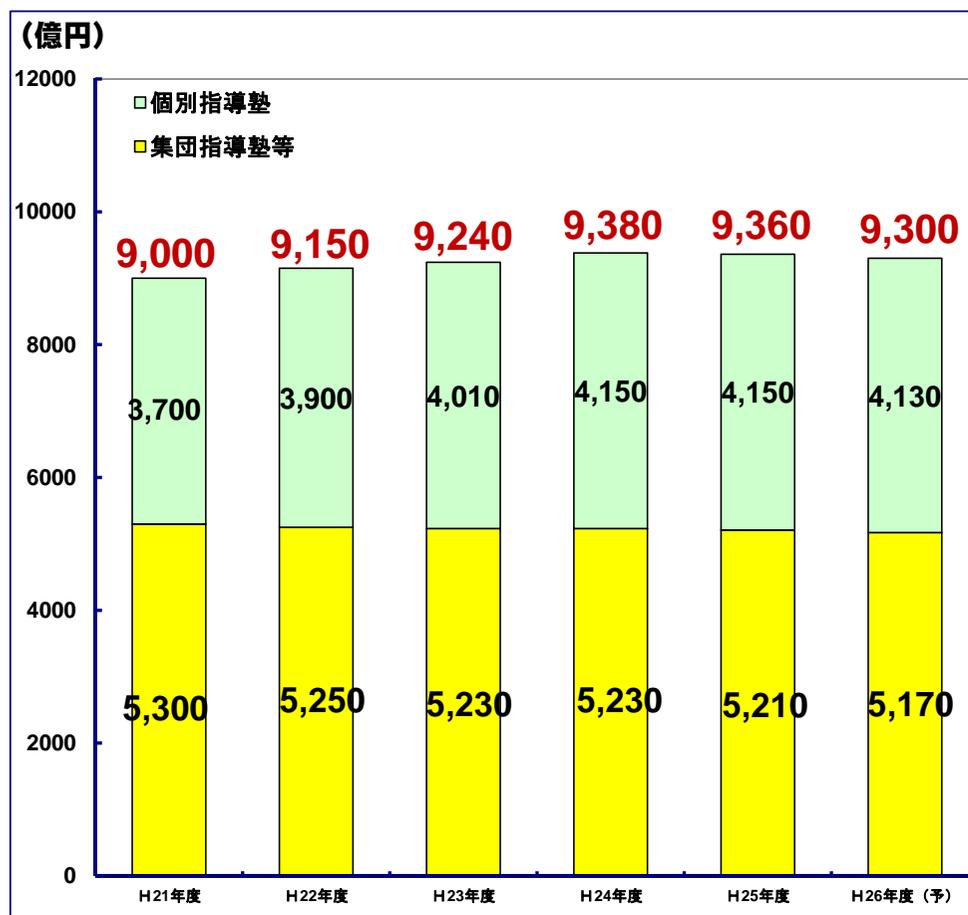
※WACについてはH27年3月より中学部を新設しExiVブランドに拡大リニューアル予定

<2> 業界動向 ～市場規模・売上ランキング



市場規模は9,360億円 / 売上ランキングでは第4位

【学習塾・予備校市場規模推移】



【H26 学習塾 売上高順位 (上場企業)】

順位	法人名	売上 単位:百万円
1	栄光HD	42,141
2	ナガセ	39,841
3	リソー教育	19,775
4	早稲田アカデミー	18,573
5	市進HD	17,858
6	明光ネットワークジャパン	16,470 <small>(26/8月期予想値)</small>
7	東京個別指導学院	14,322
8	ウィザス	14,264
9	秀英予備校	11,767
10	京進	10,148

※矢野経済研究所「教育産業白書2014年版」(H26年9月30日発刊)より

<3>ビジネスモデル ～合格実績戦略



- <当社の強み>
1. 難関校への圧倒的な合格実績によるブランド力
 2. 普通の学力の子を難関校へ導くシステム

<難関校への圧倒的な合格実績が生み出す好循環により収益拡大>



<合格実績伸長のポイント>

教育システム	完成された教材・カリキュラム
学習する空間づくり	生徒のやる気を引き出すクラス運営
競争原理	生徒が競争し、切磋琢磨できる学習環境の提供
研修・人事制度	優秀で情熱ある講師の育成

<3> ビジネスモデル ～当社の強み①



圧倒的な合格実績 ～一目でわかる差別化～

<平成26年 中学入試実績> 男女御三家中学 315名 業界第2位へ

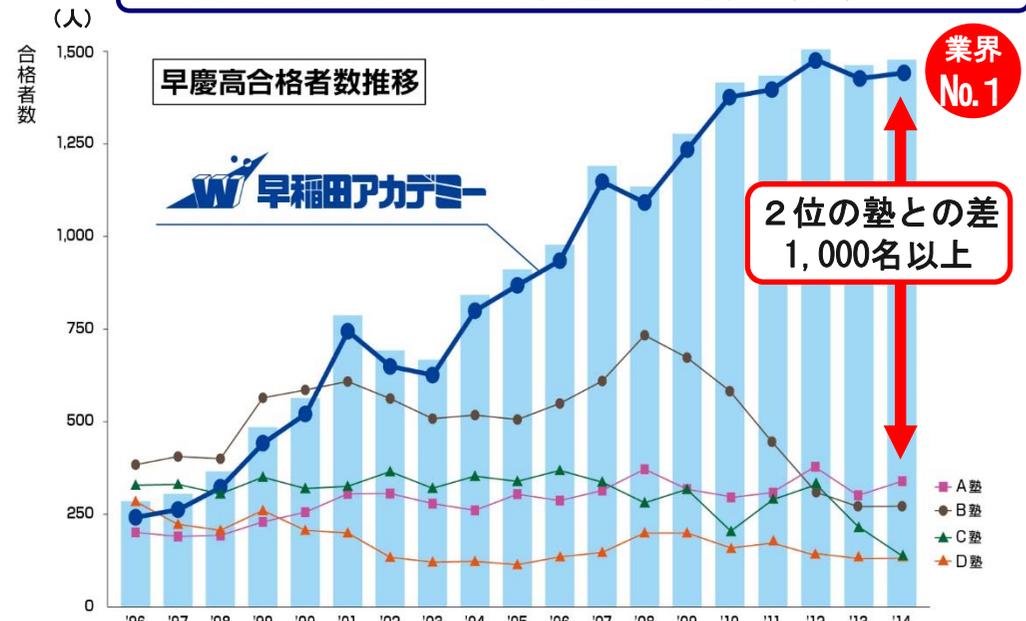
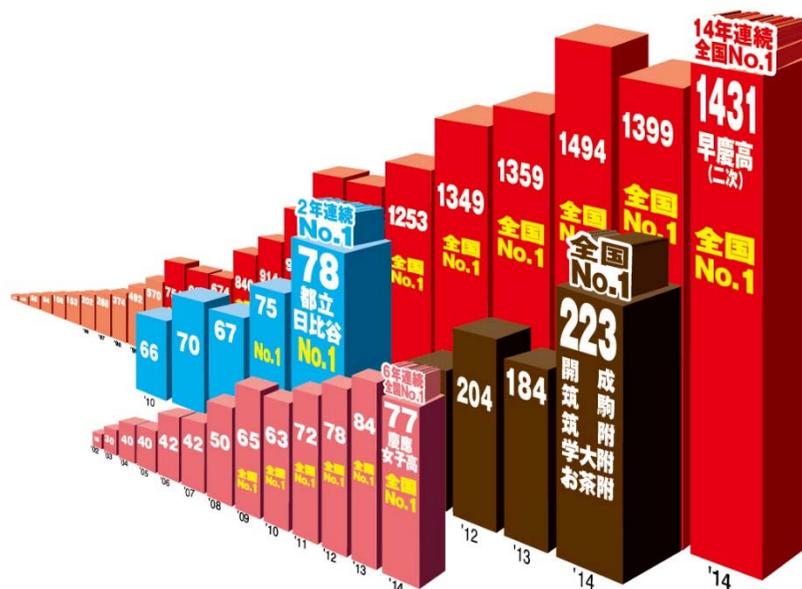
早慶附属中学 448名 当社過去最高数更新

<平成26年 高校入試実績> 早慶附属高校 14年連続全国No.1 1,431名 (定員約1,610名)

開成高校 7年連続全国No.1 79名 (定員100名)

慶應女子高校 6年連続全国No.1 77名 (定員約100名)

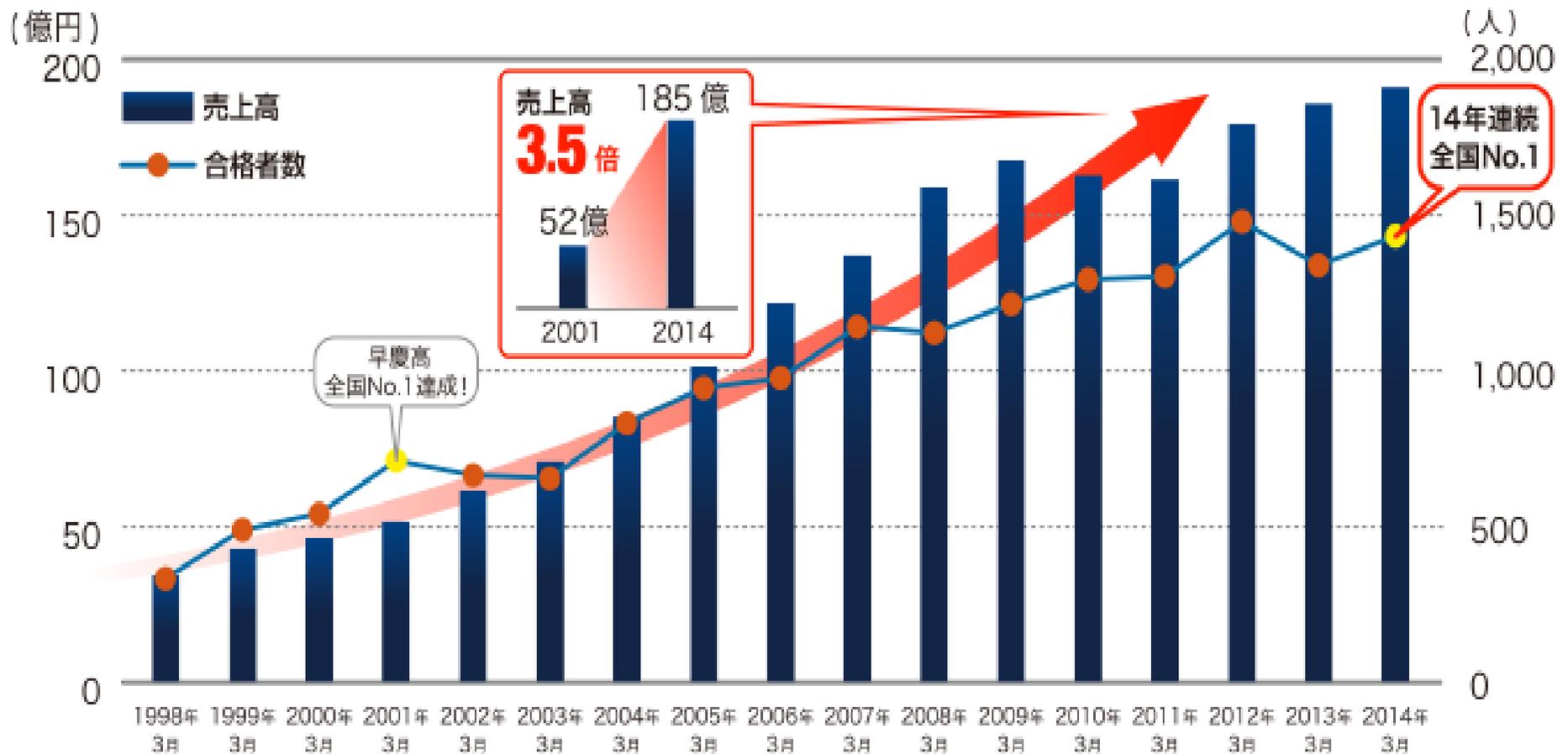
早慶附属高校 合格者数推移 (定員 約1,610名)



<3> ビジネスモデル～合格実績伸長による集客力向上



早慶高合格実績No. 1 達成以降、売上高は3.5倍に



<3>ビジネスモデル ～当社の強み②



普通の学力の子を鍛えて難関校へ導くシステム

偏差値70以上が必要とされる

開成 国立附属 早慶附属 に
進学した生徒の中1当時の偏差値は

5割以上が40～50台でした

開成・国立・早慶高



※中1・5月までに入塾し、2014年入試で開成・国立附属・早慶附属高に進学した生徒の中1の時の偏差値分布

偏差値65以上が必要とされる(開成・国立・早慶高を除く)

私立難関 都立立難関 に
進学した生徒の中1当時の偏差値は

76%が40～50台でした

偏差値65以上の
(開成・国立・早慶高除く)
私立難関・都立立難関校



※中1・5月までに入塾し、2014年入試で開成・国立附属・早慶附属高を除く偏差値65以上の難関校に進学した生徒の中1の時の偏差値分布

<3>ビジネスモデル ～出校展開



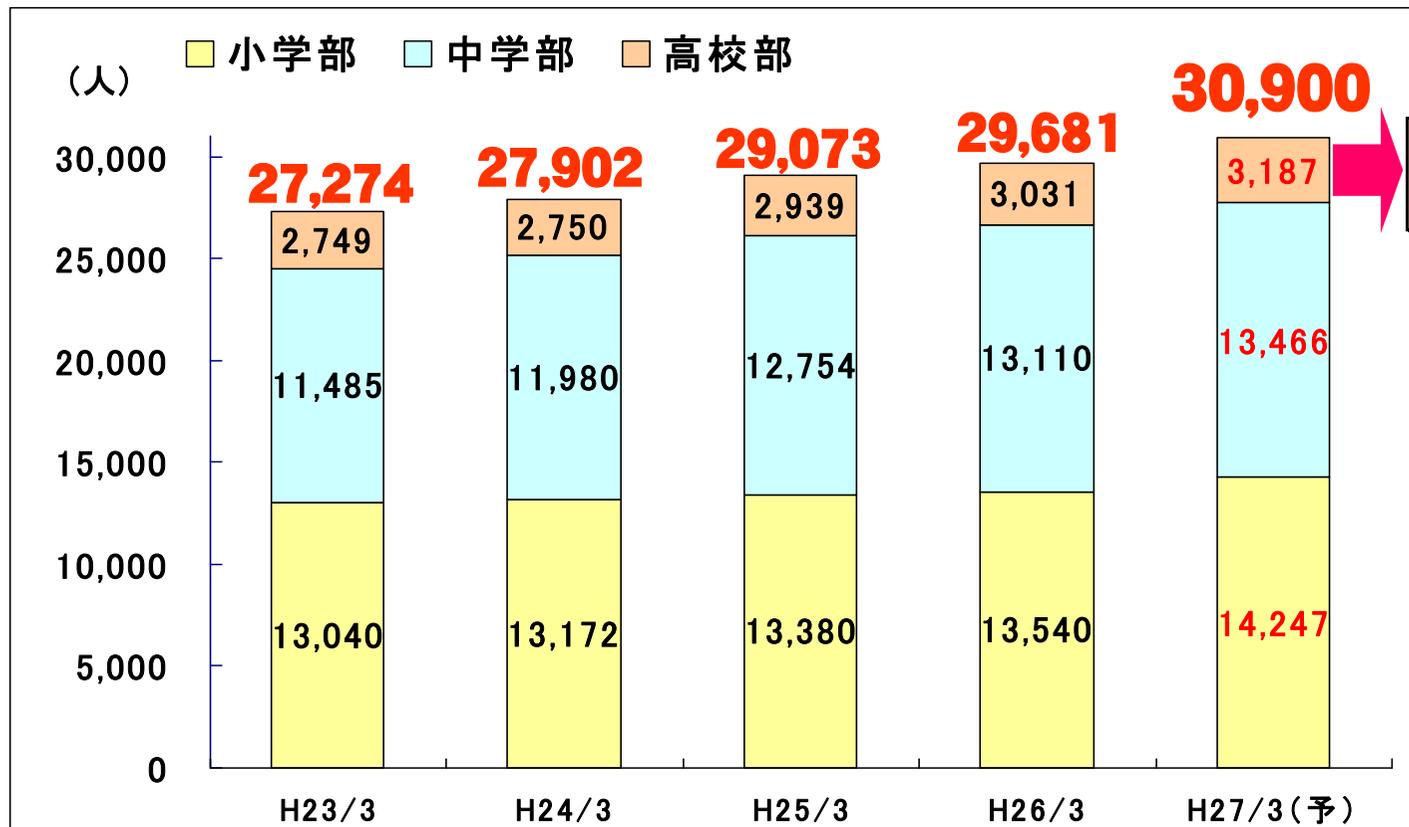
早慶附属高校合格実績全国No.1のブランド力が通用する首都圏全域が出校エリアに



< 4 > 業績推移 (塾生数 期中平均 / 連結)



小・中・高校部ともに順調に伸長



高校部内訳	早稲アカ	2,966
	野田学園	221

《前期比》
H26→H27

高校部
105.1%

中学部
102.7%

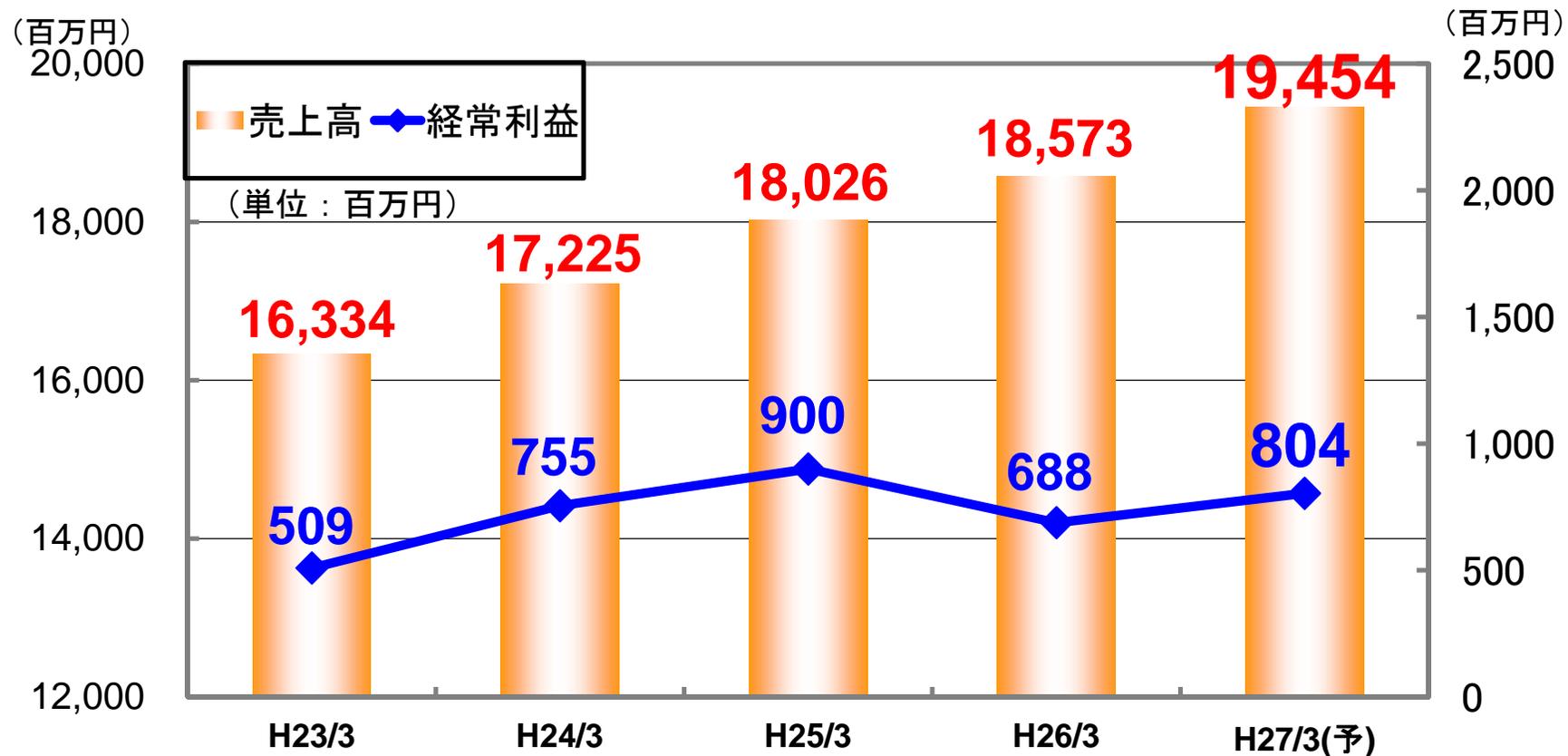
小学部
105.2%

期		H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3(予)
前期比		102.1%	102.3%	104.2%	102.1%	104.1%
期末校舎数	早稲アカ	127校	132校	137校	143校	153校
	野田学園	2校	2校	2校	2校	2校

塾生数前年同期比	
早稲田アカデミー	104.0%
野田学園	113.3%

< 4 > 業績推移（売上高・経常利益 / 連結） 早稲田アカデミー

27年3月期は過去最高の売上高を予定



	H23 / 3	H24 / 3	H25 / 3	H26 / 3	H27 / 3 (予)	(単位：百万円)
売上高	16,334	17,225	18,026	18,573	19,454	
経常利益	509	755	900	688	804	

< 4 > 業績推移（中期利益計画／連結）  早稲田アカデミー

（単位：百万円）

項目 \ 期	第41期	第42期	第43期
	H27/3月期	H28/3月期	H29/3月期
売上高	19,454	20,559	21,873
経常利益	804	886	1,086
（売上高経常利益率）	4.1%	4.3%	5.0%
当期純利益	446	528	643

学習塾業界でのトップブランドを目指して

1. 合格実績戦略の更なる推進

「難関志望校合格」の追求

中学・高校・大学受験における
主要校の合格実績No. 1の達成

2. 多様化する顧客ニーズへの対応

学校教育改革・顧客ニーズの変化に対応

- 最先端の英語教育の開発・展開
- 難関校受験に対応した個別指導

3. 蓄積されたノウハウ・資源の活用

- 教員研修事業・リーダー育成合宿研修
- 私公立学校からの受託授業

英語教育の変革への対応

◆国の動き グローバル化に対応した英語教育改革実施計画 H25.12月文科省発表

英語教育の在り方(H30年～)

小学5・6年: 英語を正式な教科とする

中学校: 英語の授業は全て英語で行うことを基本とする

高等学校: 英語の授業は英語で行い、
発表・討論・交渉等の高度な言語活動力を養成する

生徒の
英語力を向上

◆大学入試の動き

■私立大学 (H27年～) : 検定試験“TEAP”のスコアを出願資格として採用
(上智大、立教大、中央大、関西大学等)

■大学入試センター試験の廃止と達成度テストの導入が議論
「英語」は、「読む・書く」のテストから「読む・書く・聞く・話す」のテストへ

早稲田アカデミーから英語教育の提案
受験英語に留まらない“**生きた英語力**”を身に付ける講座

早稲田アカデミー IBS 東大・医学部・ハーバードに一番近い小学生たちの英語塾
Integrated Bilingual School



・英書の多読により英語力を養成



・バイリンガル講師によるAll Englishの授業

ダイレクトに英語の世界に飛び込み、読めて・聞けて・表現できる英語力を習得

目標は“小4までに英検2級合格”－2年半で目覚ましい成果

IBSのノウハウを活用し拡大、多くの子どもたちへ



早稲田アカデミー IBS
Integrated Bilingual School

～東大・ハーバード ダブル合格プログラム～
東大受験生のための
ハーバード併願コース

TW Booster コース

高1、中高一貫校に通う中1対象

1年間(中1は2年間)で英検準1級レベル
を目指すAll Englishの授業

Dual Express ENGLISH

中学受験をしない小5・小6対象

- ・ 2年間で英検準2級レベルを目指す
- ・ IBSのノウハウを汎用化し、早稲田アカデミーブランドの標準校舎7校で開講

開講1年目で目覚ましい英検合格実績

“授業は始まりの3分で決まる”

早稲田アカデミーの授業ノウハウが公教育で活用されています

教師力養成塾 e-講座

当社の講師研修ノウハウを凝縮した
学校教諭や教員志望者向けeラーニング

主な教員研修受注実績 (27年3月期)

H26/4月~

東京都足立区(足立区的全公立小中学校の
採用1~3年目の教員対象)

H26/6月~

大阪市教育センター(大阪市中学校の教員対象)

H26/10月~

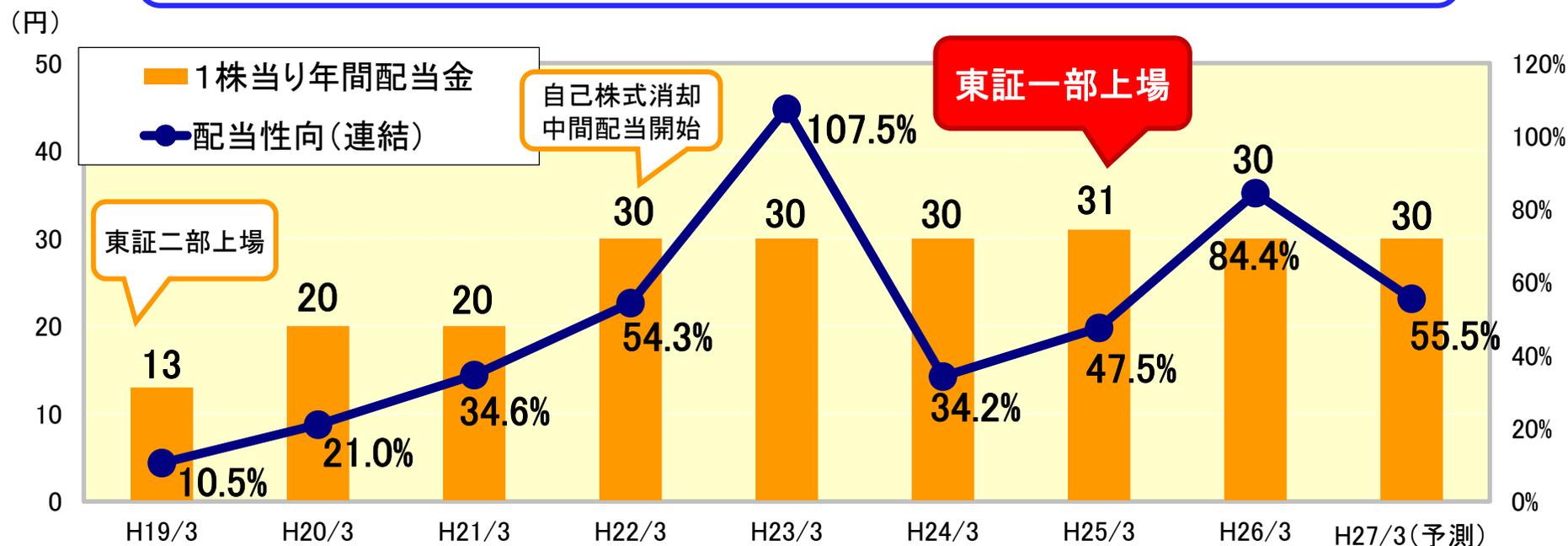
大阪府教育センター(公立高校教員対象の校内研修を協働実施)



首都圏以外からも受託

配当金の推移

安定的な株主還元



※平成19年3月期の配当性向につきましては、当企業集団における子会社が存在しませんので、単体の数値を標記しております。

＜株式情報＞ 証券コード:4718 / 単元株式数:100株

株価	最低購入金額	発行済株式数 (自己株式除)	時価総額	配当利回り	PBR(実)	PER(予)
788円	78,800円	8,262千株	6,511百万円	3.8%	1.1倍	14.6倍

※平成26年12月15日時点(株価は終値)

- ◇本資料に関する問い合わせ先：当社 総務部 総務課(03-3590-4011)
- ◇本資料に記載されている経営計画、業績見通し等につきましては、将来の予測であり、現時点で入手可能な情報や、合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づき当社が作成したものでございます。従いまして記載情報には、リスクと不確実性を含んでおり、実際の業績は今後、様々な要因により、予測と異なる場合がございます。
- ◇本資料は、当社の会社概要・経営戦略についての情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではございません。投資につきましては、ご自身のご判断で行われますよう、お願い申し上げます。